



2017年11月27日

環境省主催「環境情報と企業価値に関する検討会」

コニカミノルタの環境経営

- ・国連SDGs視点の環境課題解決による事業貢献度拡大
- ・2050年「カーボンマイナス」に向けてステークホルダーと価値共創

コニカミノルタ株式会社

環境経営・品質推進部

環境経営グループ

社会要請

国連SDGs(持続可能な開発目標)：2030年に向けた17目標と169ターゲット

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

■ 2015年9月 全ての国連加盟国が共有する社会課題として採択

■ 企業には、社会課題を機会と捉え、国際ビジネスを通じて複合的に解決が期待

社会課題（事業機会）

×

イノベーション（解決手段）

= 事業成長、事業創出

社会課題をビジネス機会と捉え、
事業機会を探索

イノベーションで課題を解決
(デジタルイノベーション)

パリ協定：全ての国が気温上昇を2℃以内に抑えるための削減目標を5年ごとに提出

■ 各国での目標達成に向けた政策展開

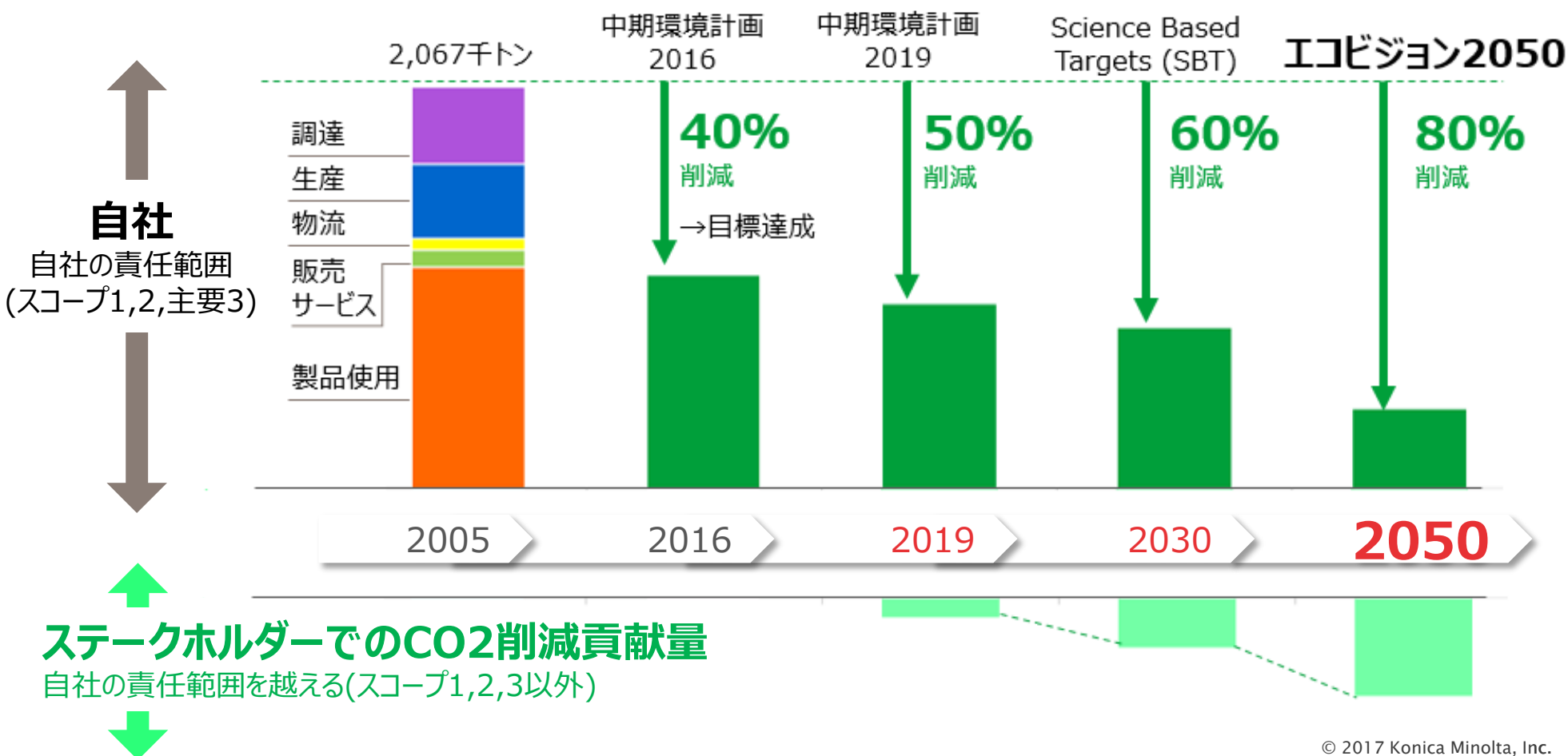


■ 企業には、リスクをビジネスチャンスと捉えた積極的取り組みが期待(技術革新・イノベーション創出)

エコビジョン2050の進化

2050年に、カーボンマイナス コニカミノルタの活動により社会全体のCO2排出量がマイナスになる状態

- ・自社：ライフサイクルCO2排出量を2050年80%削減、
- ・社外：自社ライフサイクルCO2排出量を上回る削減貢献

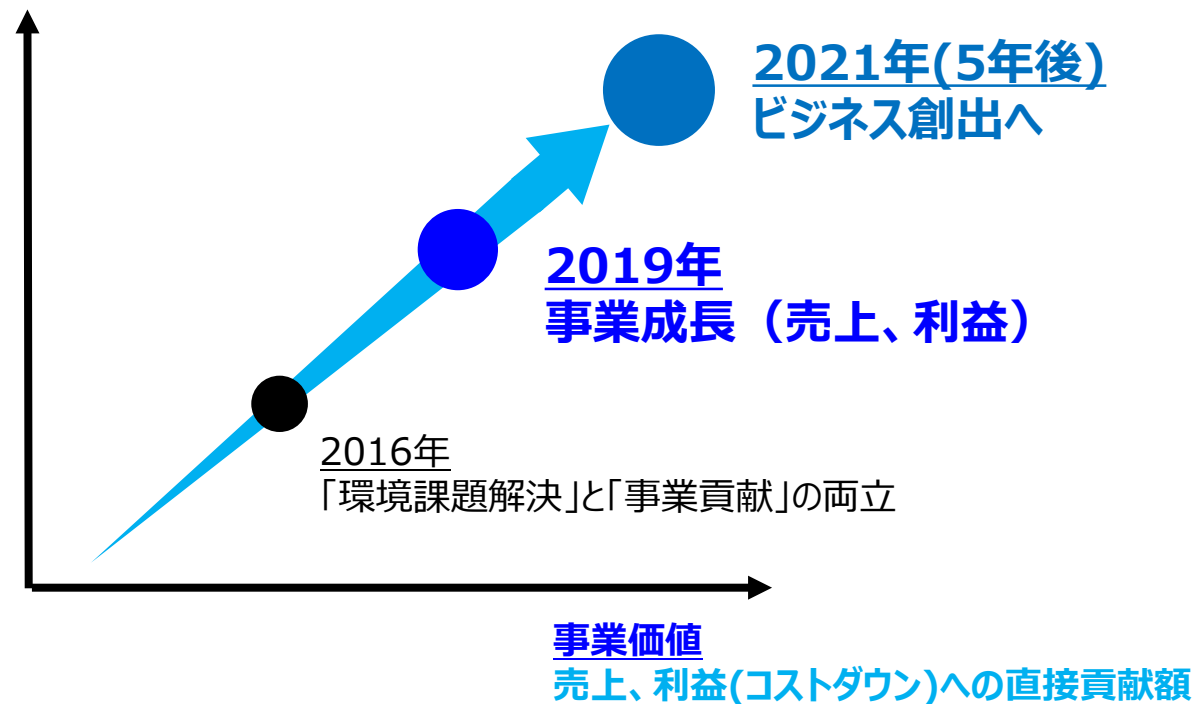


環境経営の考え方

経営ビジョン

- ・グローバル社会から支持され必要とされる会社
- ・足腰のしっかりした進化し続けるイノベーション企業

環境価値
環境課題を解決



中期重点施策 ～「カーボンマイナス」に向けて

1) サーキュラーエコノミー ⇒社会のCO2削減/廃棄物問題解決、新しいビジネス・雇用創出

2) 調達先での環境支援 ⇒調達先のCO2削減/資源抑制、コストダウン

3) お客様の環境課題解決 ⇒お客様のCO2削減/資源抑制、売上貢献

3)お客様(フランス)

- ・KM販社・工場のCSR活動ノウハウ提供
- ・自然との共生促進

3)お客様(中国)

- ・KM工場のノウハウ提供
- ・中国の環境問題解決
- ・行政との連携

3)お客様(日本)

- ・KM環境DBを活用したデジタルワークフロー提案

2)調達先(中国)

- ・施策ノウハウDB化
- ・省エネ診断デジタル化
- ・デジマことの連携

2)調達先(ASEAN)

- ・施策ノウハウDB化
- ・省エネ診断デジタル化
- ・デジマことの連携

1)サーキュラーエコノミー(中国、マレーシア)

- ・グローバルに再生材拡大
- ・資源循環のスモールビジネス

1)サーキュラーエコノミー(メキシコ)

- ・グローバルに再生材拡大
- ・資源循環のスモールビジネス



再生材適用の拡大

<再生材の効果>

- ・再生材適用による材料コストダウン
- ・将来想定される欧州課税への先行対応

⇒お客様から再生材技術提供のオファーあり

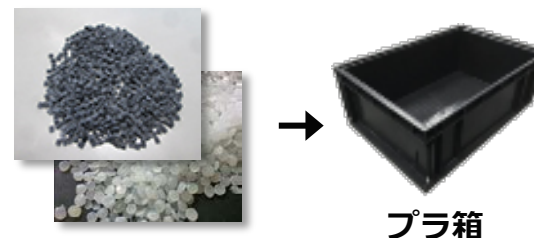
第3ステップ：お客様へ適用

*自社開発の再生材をお客様へ提供

第2ステップ：調達先へ適用

*自社工場、調達先で使用する
生産副資材への再生材展開
再生材箱による循環スキーム構築

プラ箱やなどの副資材への再生材展開



第1ステップ：自社製品への適用



廃棄PETボトル
廃棄ガロンボトル



再生PC+PET



PC+PET (recycled)



廃棄ミルクボトル



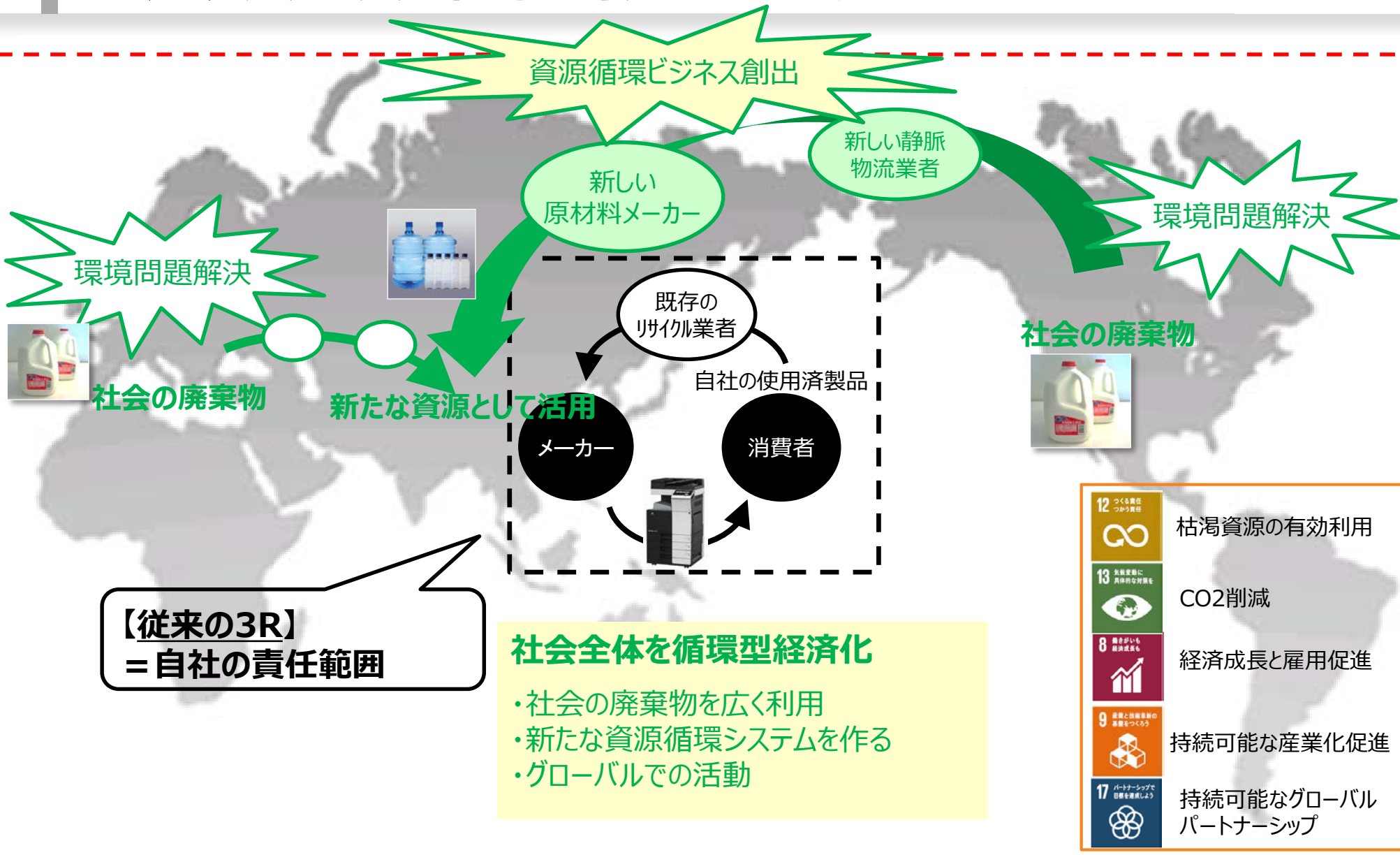
再生HDPE



トナーボトル

※再生材含有率40%

コニカミノルタの資源循環の考え方 ～サーキュラーエコノミー～



グリーンサプライヤー活動 ～調達先での環境活動

グリーンファクトリー活動

コストダウン

販売機会

事業リスク

人財



グリーンサプライヤー活動

- ・コニカミノルタの環境ノウハウ・技術を調達先へご提供
- ・ロス削減・無駄取りによるコストダウンと環境負荷低減



<調達先のメリット>

コストダウン

環境対策はコストダウンへの貢献という重要な効果

販売機会

取引するのであれば環境経営に優れた企業を選択

事業リスク

企業経営にとってコンプライアンスは最重要

人財

従業員が環境と事業成長の必要性を実感

<グリーンサプライヤー活動目標>

テーマ	管理指標	GS目標(活動開始2.5年後)
地球温暖化防止	CO2排出量	5%削減(活動前年比)
	エネルギーコスト	5%削減(活動前年比)
排出物削減	外部排出物量	12.5%削減(活動前年比)
	材料・廃棄物コスト	廃棄物費用以上のコスト削減
	最終処分率	0.5%以下
化学物質リスク低減	化学物質リスク低減	化学物質ガイドライン適合

その他：環境に関する順法対応ができていること

グリーンサプライヤー活動

～事例

Voice 調達先 の声

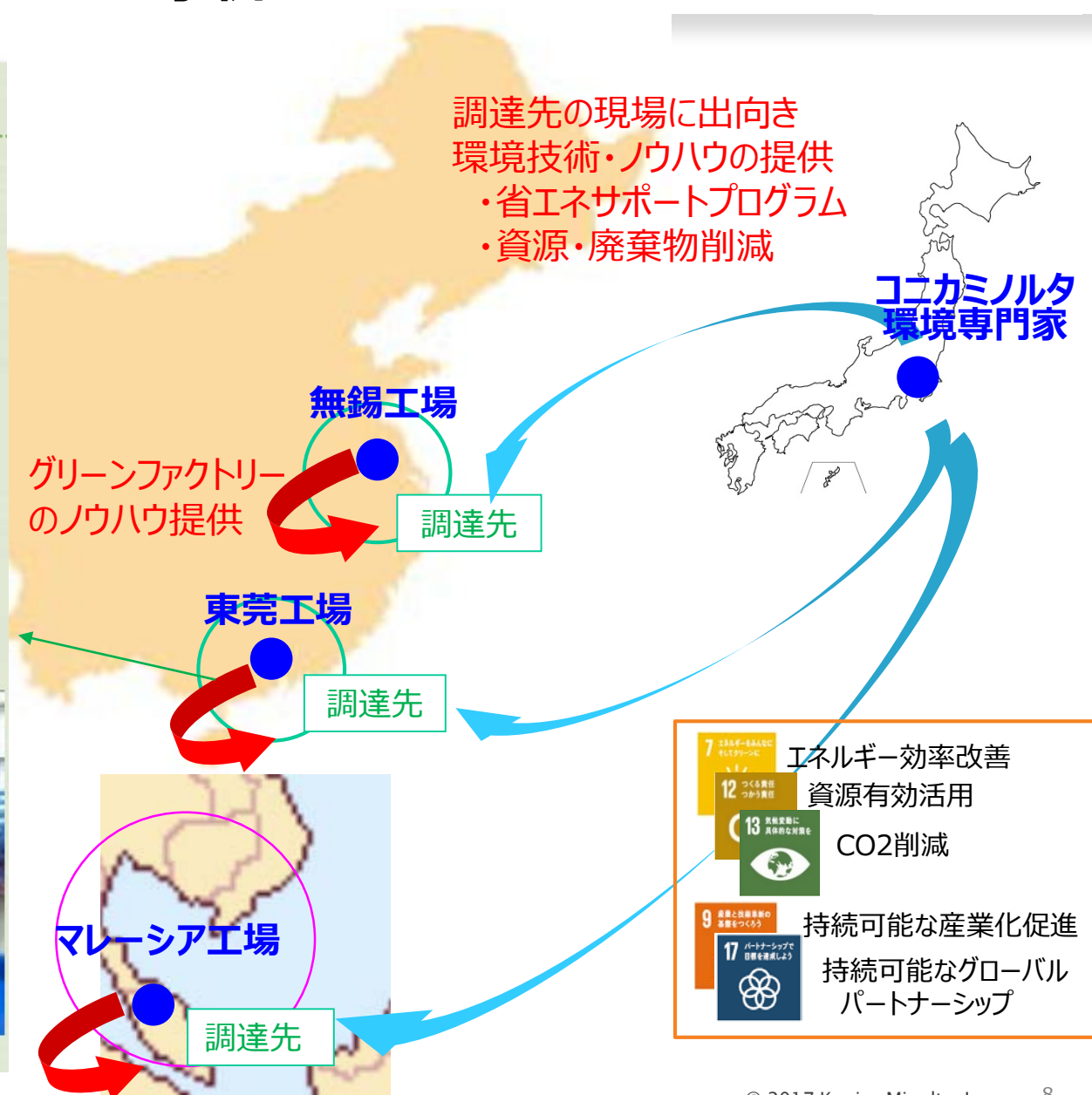
「グリーンサプライヤー活動」ではコニカミノルタの専門家が我々の現場に入り込み、成形機やユーティリティの対策を一緒になって考えてくれました。対策の実施にあたってはコニカミノルタの中国生産拠点を訪問し、具体的な進め方を相談しながら取り組むことができました。

地方政府は省エネ活動を重視しており、グリーンサプライヤー活動の省エネ取り組み報告により、報奨金を授与されました。年間800トン削減できたことが成果であり、中国のCO₂削減にも貢献できました。

昌紅科技股份有限公司 董事總經理
徐燕平様



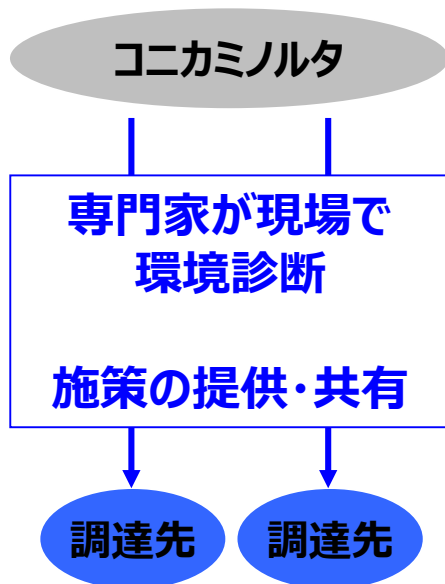
コニカミノルタの拠点へ来社いただき活動内容を紹介



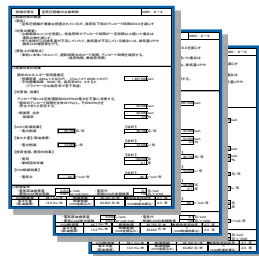
グリーンサプライヤー活動の拡大 ～環境ノウハウのシェアリング～

今までの活動

個別の活動

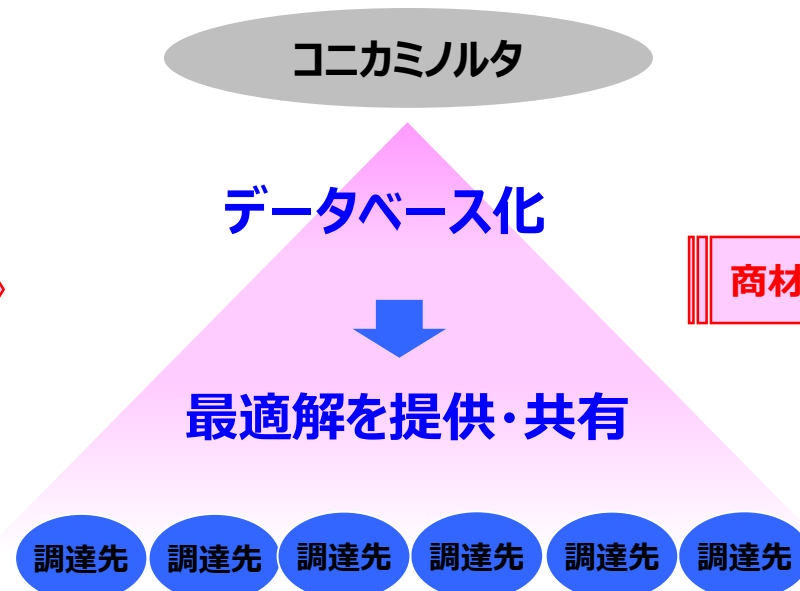


ツール



今後のめざす姿

エコシステムの確立



将来

エコシステムの提供



商品化して提供

グローバルでお客様との関係強化（グリーンマーケティング活動）

- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 8 働きがいも 経済成長も
- 9 産業と地域発展のきっかけをつくる
- 17 パートナリプで目標を達成しよう
- ・水使用量削減
 - ・エネルギー効率改善
 - ・資源有効活用
 - ・CO2削減
 - ・持続可能な経済成長
 - ・持続可能な産業化促進
 - ・持続可能なグローバルパートナーシップ

お客様の環境課題解決（お客様の環境負荷低減の支援）

- ・環境活動の技術やノウハウをお客様に提供することで、お客様の環境課題の解決に貢献します。
- ・様々な部門のお客様の環境要望に対応することで、パートナー企業として連携を深めていきます。
- ・コニカミノルタとお客様の「共有価値」を創造し、お客様とともに持続的に成長していく姿を目指しています。

お客様

企業間でお互いに成長

コニカミノルタ

支援活動
コストセンター

総務
CSR・環境
人事・労務管理
財務・経理
経営戦略・経営企画
広報・ブランド
IT
研究開発
調達



お客様工場での省エネ診断

購買物流	製造	出荷物流	販売 マーケティング	サービス
------	----	------	---------------	------

技術・ノウハウ提供
コニカミノルタの

- ・環境経営(中期環境計画/マテリアリティ)
- ・環境格付(DJSI/CDPなど)
- ・環境マネジメント体制(統合ISOなど)
- ・環境法規制への対応実例 など

- ・環境負荷低減とコストダウン実現(GF活動) など

- ・製品含有化学物質管理の仕組み
(納入先からの調査への対応方法) など

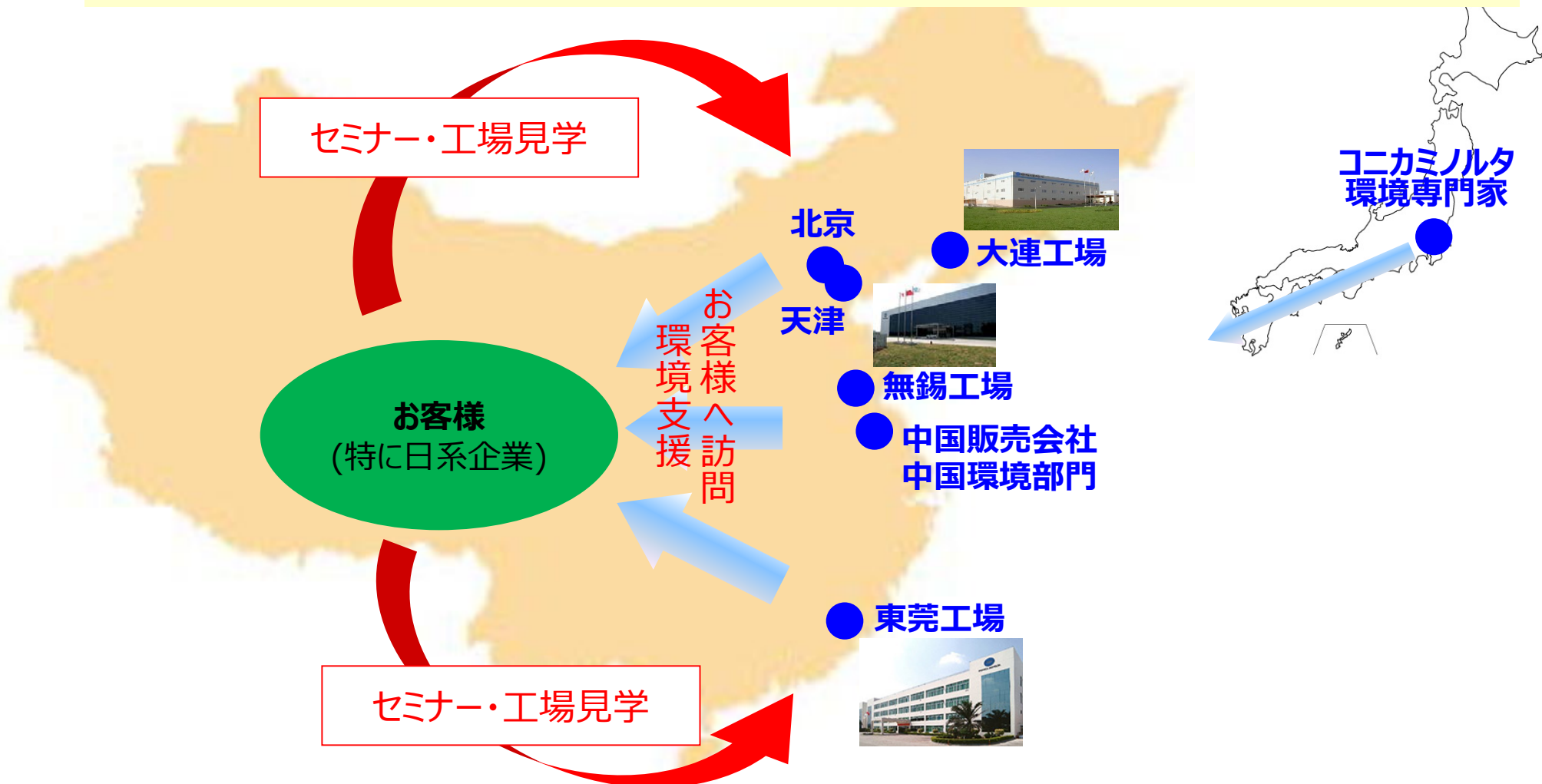
主活動

プロフィットセンター

グリーンマーケティング活動（中国） 活動体制

グリーンファクトリー、サプライヤー活動を実践している工場が核になり活動

2016年度：日系企業中心⇒ 2017年度：中資、外資、政府へと活動を拡大



グリーンマーケティング活動 欧州

フランス販社とフランス生産工場が連携したグリーンマーケティング活動

- ・生産工場：環境活動の実践事例、デジタルマニュファクチャリング、CSR活動（菜園、希少種保護）
- ・販売会社：CSR活動（フードロス教育、養蜂）



欧州統括販社
CSR部門



フランス販社

フランス工場



環境セミナー(パリ)を計画

環境セミナー/工場見学会
(2017年7月実施)

コニカミノルタ
環境専門家

MEMBER OF

**Dow Jones
Sustainability Indices**

In Collaboration with RobecoSAM

「Dow Jones Sustainability World Index」

6年連続構成銘柄に採用 日本企業唯一の産業別リーダー

グローバル：319社選定 日本企業：32社

環境分野：4年連続で「コンピューター・周辺機器及び事務用電子機器」セクターでトップ

ROBECOSAM
Sustainability Award
Silver Class 2017

「シルバークラス」に選定

ゴールドクラス、シルバークラスあわせて151社選定 日本企業7社

環境分野：3年連続で「コンピューター・周辺機器及び事務用電子機器」セクターでトップ


「気候変動Aリスト」企業として選定

グローバル：112社選定 日本企業：13社



FTSE4Good

「FTSE4Good（フツィーフォーグッド）Index」

2003年から連続選定

環境分野：5点満点

GPIF

(年金積立金管理運用独立行政法人)

採用のESG指数

 FTSE Blossom
Japan

「FTSE Blossom Japan Index」

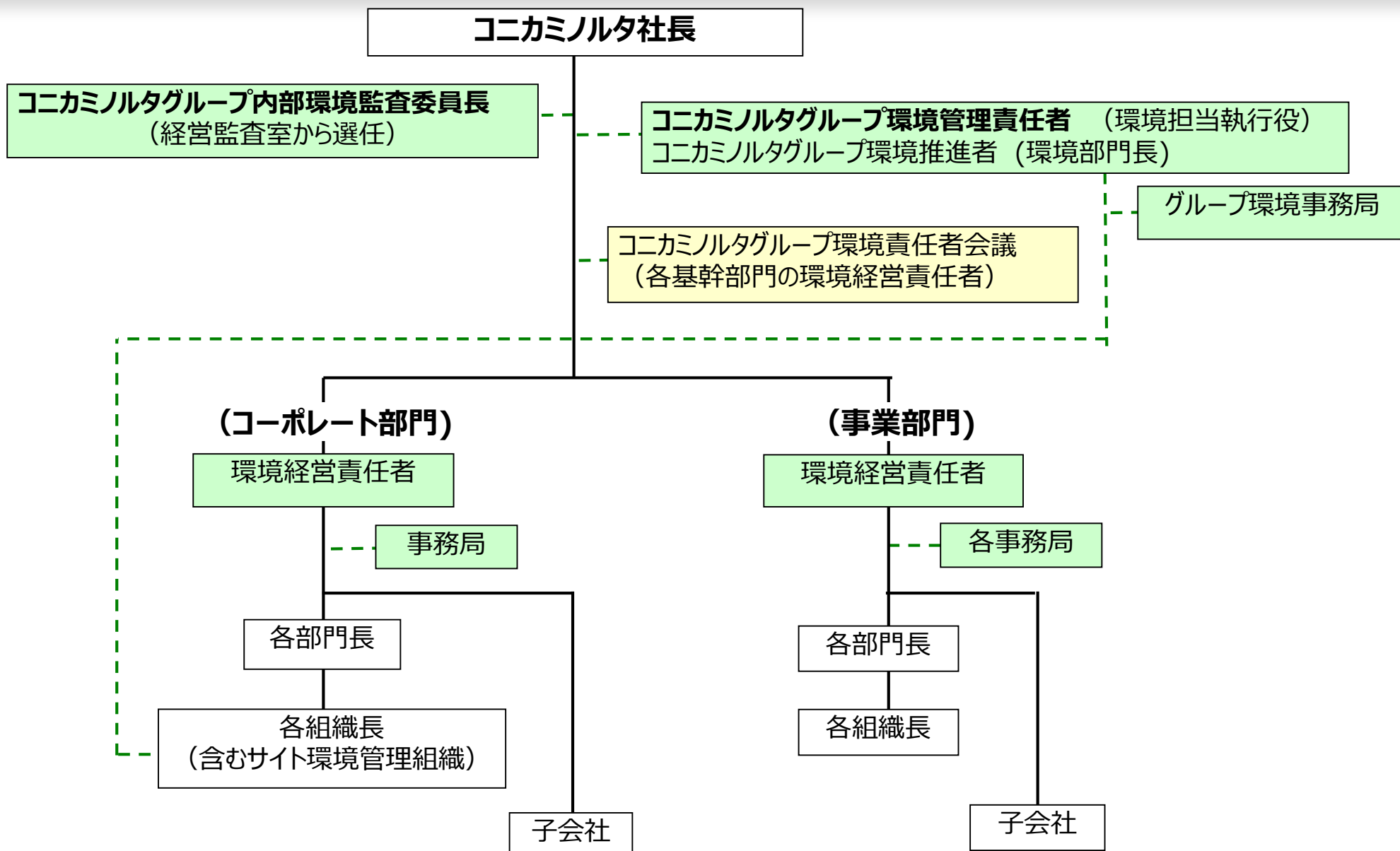
2017年新設当初から構成銘柄に選定


 2017 Constituent
MSCI ジャパンESG
セレクト・リーダーズ指数

「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」

構成銘柄に選定

環境マネジメント体制





KONICA MINOLTA

Appendix

目指す姿：課題提起型デジタルカンパニー

お客様の潜在的課題を先取りして、共に答えを導き出すことで
お客様のビジネスの変革・社会の進化に貢献



- 全社を挙げて業種業態別お客様企業のトランスフォームを支援
- お客様企業の潜在的課題を先取りして共に解を創出

マテリアリティ分析 ～ 機会とリスク

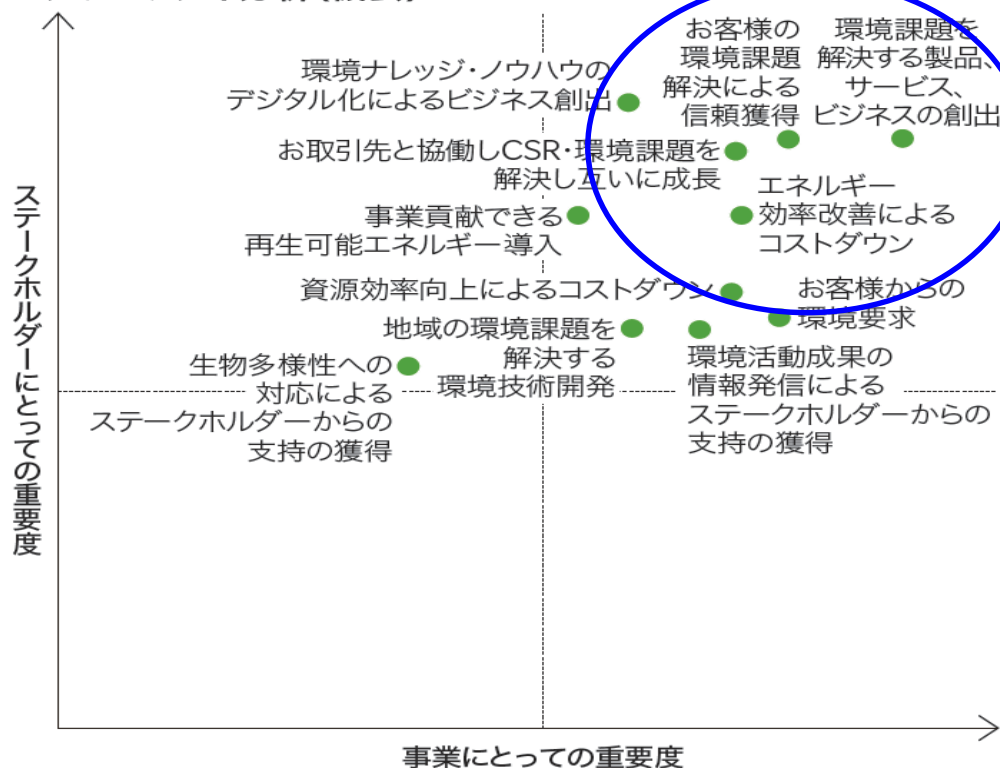
【重要な機会】

- ①環境課題を解決する製品・サービス、ビジネス創出
- ②お客様の環境課題解決による信頼獲得
- ③環境ナレッジ・ノウハウのデジタル化によるビジネス創出
- ④お取引先と協働でCSR・環境課題を解決し互いに成長
- ⑤エネルギー効率改善によるコストダウン
- ⑥資源効率向上によるコストダウン

【重要なリスク】

- ①化学物質規制の強化
- ②エネルギー/気候変動問題
- ③再生可能エネルギー
- ④資源の枯渇（石油由来資源）
- ⑤お客様からの環境要求

マテリアリティ分析(機会)



マテリアリティ分析(リスク)



中期環境計画2019 KPI

重点テーマ	重要課題	2019年度目標		
		事業価値	環境価値	(SDGs)
グリーン プロダクツ (企画・開発)	1)顧客・社会が求めるサステナブルグリーン プロダクツ(SGP)の創出	【売上】SGP売上:7,700億円 (売上比率70%) 【CD】資源抑制コストダウン	【温】製品CO2削減効果:17.2千トン 【循】資源有効利用量:11.3千トン 【化】エミッションへの確実な対応 +SDGs視点の社会課題解決	   
	2)政府調達基準・環境ラベルへの対応	【売上】販売機会損失ゼロ	【全】基準適合による環境負荷低減	
	3)製品関連法規制への確実な対応	【リスク】販売影響ゼロ	【化】法適合による有害物質リスク低減	
グリーン ファクトリー (調達・生産)	1)エクセレントグリーンファクトリー活動	【CD】I初級・資源コストダウン	【温】生産CO2削減効果:20千トン 【循】資源有効利用量:2.8千トン 【水】水使用削減:	  
	2)グリーンサプライヤー活動の拡大	【CD】調達先コストダウン 【売上】施策ノウハウDB化、商材化	【温】調達先CO2削減効果:5千トン 【循】調達先資源有効利用量:0.25千トン +SDGs視点の社会課題解決	
	3)生産副資材への再生材展開拡大	【CD】資源コストダウン	【循】資源有効利用量:0.3千トン +SDGs視点の社会課題解決	
	4)再生可能エネルギーの導入拡大	【売上】GMツールとして売上貢献	【温】再生可能エネルギー比率:1% +SDGs視点の社会課題解決	
	5)サプライチェーン上のリスク対応	【リスク】調達・生産・販売影響ゼロ	【全】適合による環境負荷低減	
グリーン マーケティング (物流・販売 サービス・回 収リサイクル)	1)グローバルでお客様との関係強化	【売上】売上貢献	【全】お客様での環境負荷低減 +SDGs視点の社会課題解決	  
	2)デジタル・グリーンコンテンツ販売	【売上】コンテンツ売上	【全】お客様での環境負荷低減 +SDGs視点の社会課題解決	
	3)サプライチェーン最適化と連動した環境活動	【CD】物流/包装コストダウン	【温】物流CO2削減効果:0.3千トン 【循】資源有効利用量:0.04千トン	
	4)使用済製品の回収リサイクル法対応	【リスク】販売影響ゼロ	【全】法適合による環境負荷低減	

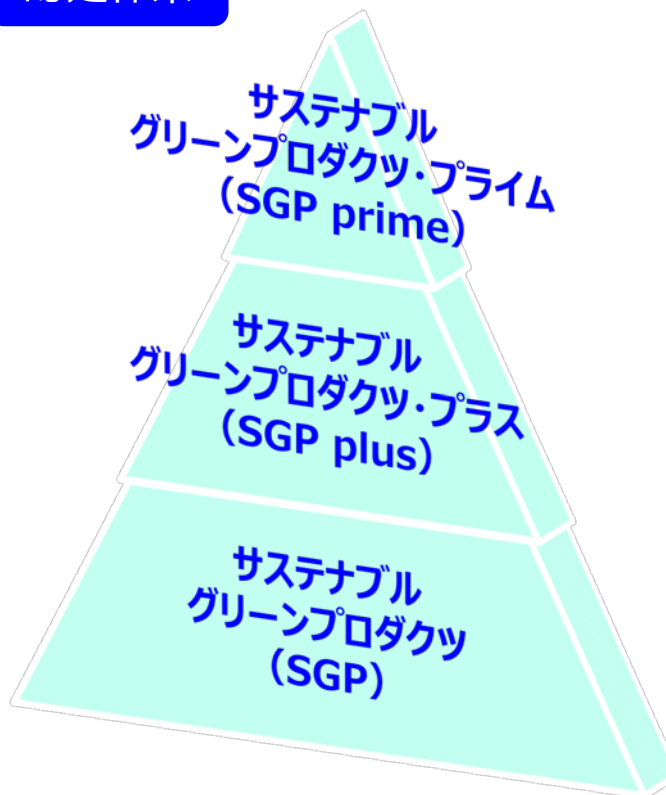
サステナブル・グリーンプロダクツ認定制度

- 製品による環境負荷低減（環境性能）に加えて、
“SDGs視点で社会課題を解決する製品・ソリューション” を創出

→社会課題を解決する製品・サービスを企画・開発し、差別化を推進

→「課題解決型デジタルカンパニー」としてのブランド認知度向上

認定体系



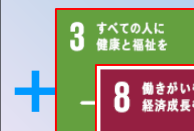
認定基準

認定レベル	認定基準	
	環境	SDGs
サステナブル・グリーンプロダクツ・プライム (SGP prime)	・従来製品では実現不可能な環境負荷低減 ・オンリーワン技術 ・経営貢献	・社会の課題解決へ貢献し、その貢献度をSDGs視点で明確に説明可能
サステナブル・グリーンプロダクツ・プラス (SGP plus)	・業界トップ又は業界初の環境性能を実現した製品	
サステナブル・グリーンプロダクツ (SGP)	・業界トップレベルの環境性能を実現した製品	

例) ケアサポートソリューション



- ・患者バイタル情報の電子共有
- ・ケア記録電子化による介護のペーパーレス化



- ・高品質な介護サービスの実現
 > 居住者の行動解析による、高品質な介護へのアクセス向上

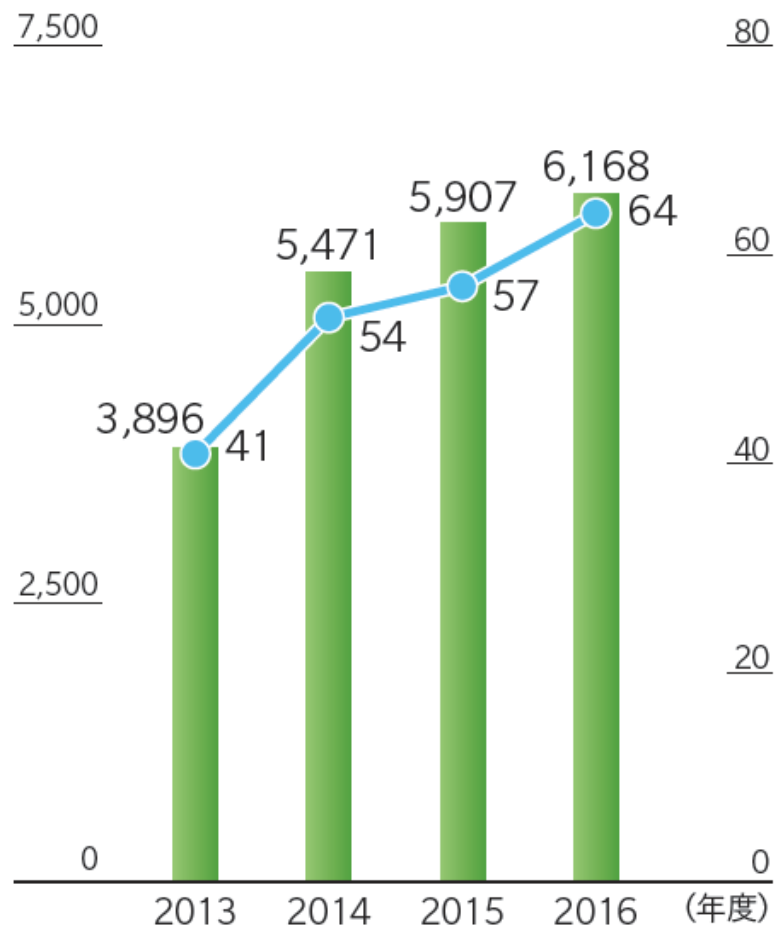


- ・スタッフの効率的な労働を実現
 > スタッフの運動量を日勤で10%、夜勤で29%削減

グリーンプロダクツ売上高および環境負荷低減効果の推移

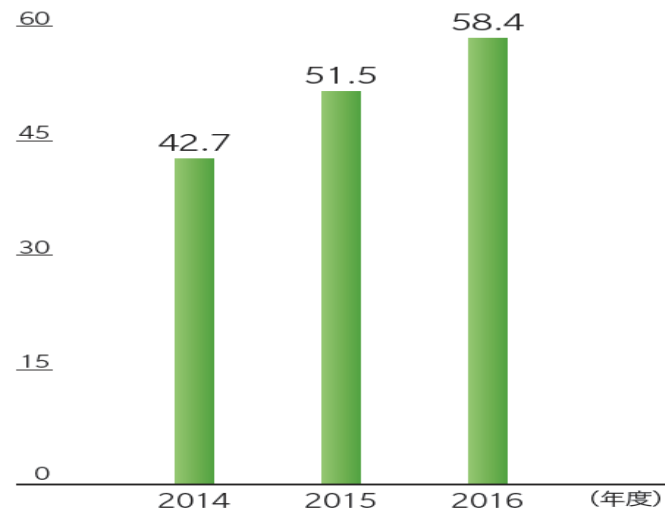
グリーンプロダクツ売上高

(億円) ■ 売上高 ● 総売上高に占める比率 (%)



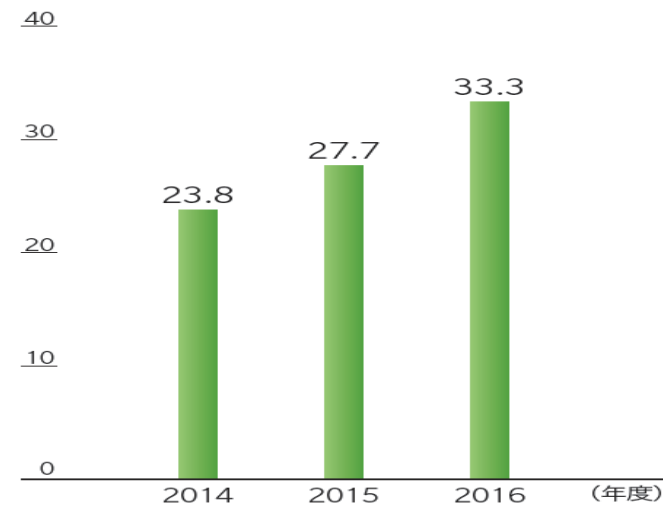
製品使用時のCO₂削減効果

(千トン)



資源有効利用量

(千トン)



エクセレントグリーンファクトリー活動

エクセレントグリーンファクトリー活動を2016年度から開始

- ・自社工場の環境負荷を低減に加えて、
調達先、お客様、地域社会のステークホルダーと協同で環境負荷を低減
→社会課題を解決し成長する工場へ

認定体系

サステナブル グリーンファクトリー

【ニュートラル】
（社会を変革）

エクセレント グリーンファクトリー

【大幅削減】
（社会に貢献）

調達先、お客様、地域社会の環境課題を解決し事業貢献

6 安全衛生とトータル
生産性を高める

・水使用量削減

7 品質管理とコスト削減
を実現する

・エネルギー効率改善

12 つくる環境
づくり推進

・資源有効活用

13 気候変動に
具体的な対策を

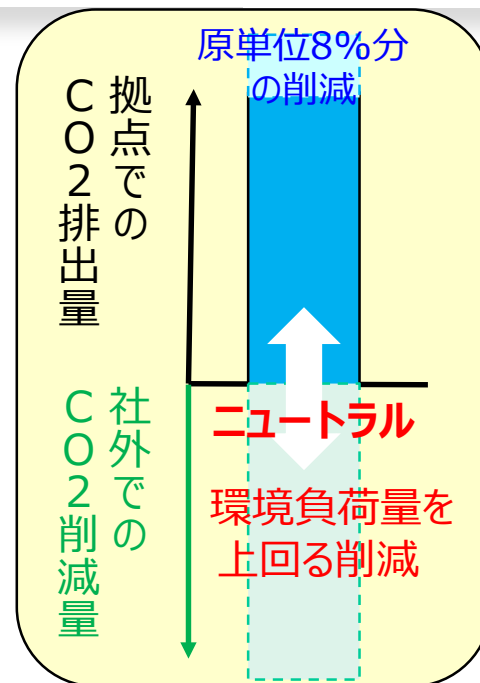
・CO2削減

9 産業と技術革新の
振興を図る

・持続可能な産業化促進

17 パートナシップで
目標を達成しよう

・持続可能なグローバル
パートナーシップ



認定基準

テーマ
（管理指標）

認定基準(2019年度)

サステナブルGF

エクセレントGF

社外の活動

2)ステークホルダー基準

・CO2排出量

【ニュートラル(ゼロ)】

= 拠点CO2排出量
- 拠点外CO2削減量

【10%削減】

= 拠点外CO2削減量

社内の活動

1)環境負荷低減基準

・CO2排出量、外部排出物量、水

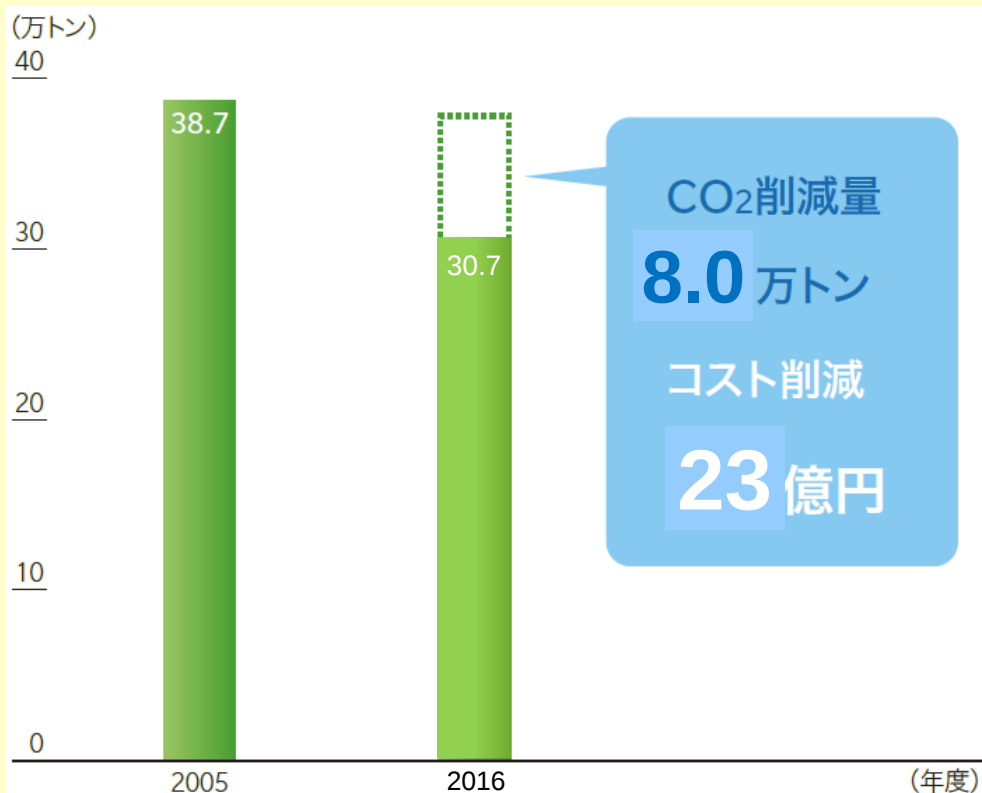
【8%削減(2015比)】

= 2%削減/年×4年

グリーンファクトリー活動 2016年度成果

パフォーマンス

生産段階のCO2排出量削減効果



生産段階の排出物削減効果

